

## 産直産地が協力、「じゃがいも」「たまねぎ」合計約900キロ 文京区『こども宅食』へ提供します

生活協同組合コープみらい（本部：埼玉県さいたま市、理事長：新井 ちとせ、事業エリア：東京都・埼玉県・千葉県）とコープデリ生活協同組合連合会（略称：コープデリ連合会、本部：埼玉県さいたま市、理事長：土屋敏夫）は、北海道の産直産地と協力し、文京区内の経済的に厳しい状況にある子育て世帯に食品を届ける『こども宅食』プロジェクトに、じゃがいも、たまねぎ合計約900キロ（各800グラム×580袋）を提供します。

『こども宅食』プロジェクトは、18歳以下の子どもがいる文京区内の経済的に厳しい状況にある子育て世帯を対象に、企業から提供された食品を定期的に直接届ける事業で、文京区をはじめとした行政、企業、NPOなど7つの団体が構成する「こども宅食コンソーシアム」が運営しています。

提供のきっかけは、コープみらいが本年7月に開催したイベントに同プロジェクトが出展した際、『こども宅食』で届ける食品は、加工食品、調味料、飲料、お菓子などの常温食品が中心で、野菜のニーズもある一方、生鮮品であることから衛生面で取り扱いが困難という課題があることを知ったことでした。

この課題の解決に、コープみらいが加盟するコープデリ連合会の産直産地である美瑛馬鈴薯出荷グループ、南空知玉葱出荷グループおよび、流通窓口の株式会社エプロン（いずれも北海道）が賛同・協力し、常温流通可能なじゃがいも、たまねぎを提供するに至りました。野菜が届けられることで、栄養や食事バランスを考えた食品が提供できると考えております。

なお、今回提供する商品は12月中に必要とされる家庭に届けられる予定です。



提供するたまねぎ・じゃがいも約900キロ。800グラムずつ小分けしてお届けされます



『SDGs』の目標 1「貧困をなくそう」に貢献します

コープデリ連合会と会員生協は、2015年に国連で採択された17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標(SDGs)」の実現に、事業と活動を通して貢献します。

### 《生活協同組合コープみらい 概要》

【住 所】埼玉県さいたま市南区根岸1-5-5	【総事業高】3,898億円（2017年度）
【理事長】新井 ちとせ（あらい ちとせ）	【事業エリア】千葉県、埼玉県、東京都
【組合員数】345万人（2018年11月20日現在）	【ホームページ】 <a href="http://mirai.coopnet.or.jp/">http://mirai.coopnet.or.jp/</a>

### 《コープデリ生活協同組合連合会 概要》

【住 所】埼玉県さいたま市南区根岸1-4-13	【総事業高】5,428億円（会員生協計・2017年度）
【理事長】土屋 敏夫（つちや としお）	【ホームページ】 <a href="http://www.coopnet.jp/">http://www.coopnet.jp/</a>
【会員生協】コープみらい、いばらきコープ、とちぎコープ、コープぐんま、コープながの、コープにいがた、コープクルコ	